

2025年5月で岡山赤十字病院緩和ケア病棟は開設11周年となります。がん患者さんの苦痛緩和を担う専門施設として運営してまいりましたが、コロナ禍での面会制限なども影響して、在宅療養を選択される患者さんやご家族も増えており、クリニックの先生方のご負担も増えておられるように思われます。当院では、緩和ケア病棟入院希望者を対象とした入棟面談を下記のごとく行ってまいりましたが、入棟の意向がハッキリしていない方々のお話もうかがわせていただくことで、療養方針の決定につながったケースも数多く経験しております。ACPの必要性が声高に叫ばれる中、なかなか上手く話が進まない、話し合いのための十分な時間が取れない、といった場合にもご利用いただけるのではないかと考えております。最終末期の看取りのみならず、高度な苦痛症状コントロール目的の短期入院や、ご家族の介護疲れ解消を目的としたレスパイト入院にも対応しておりますので、お気軽にご相談下さいませ。

【緩和ケア病棟入棟面談】

- 緩和ケア病棟への入院を希望する患者・家族との事前面談
- 毎週火・木曜日午後、予約制で実施（1時間、無料）
- 本人の意向が確認されていれば、本人不在でも可
- 入棟審査用紙（主治医、患者、家族用）記入が必要

2014年5/1～2023年3/31における入棟面談実施状況

面談実施数：1720名 [院内：1109名、院外：611名]

未入棟者数：357名 [院内：142名(13%)、院外：215名(35%)]

未入棟理由：在宅療養継続

PCU入棟の積極的意向なし

転科・転院待ちの間に死亡

他病院へ入院

抗がん治療、延命希望

紹介元病院・施設での入院継続

当院救急搬送、救急病棟他へ入院

不明、その他

令和7年4月発行